

2019年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容の総合的指導法「健康」	教員氏名	井狩 芳子
学年	1年	開講学期	前期・後期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士・幼免必修	実務経験	
テーマ	乳幼児の健康保障の視点にたち、「領域『健康』」のねらいと内容にそった援助法とその応用力を習得する		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	<p>1、「保育内容『健康』」の学びを踏まえ、幼児期終盤にその獲得が期待される10の姿を念頭に、乳幼児の日々の生活と成長に必須となる「生きる力(各生理機能/非認知能力)・体力(協応動作/脳)・基本的生活習慣・あそび・安全」について保育の実際を学ぶ</p> <p>2、「1」について、子ども達の①生活場面 ②あそびの場面を想定し、③更に保護者支援の視点も含めて、受講生の気づきの掘り起こしと知識の伝え合いを行う</p> <p>3、「2」の実践に際し、ICT教育の3つの視点を踏まえ ICTによる資料収集や授業内活用をしながら、現場で活用できる保育教材の提案や指導法の立案などを、個人または共同/協働で学習する。</p> <p>4、さらに、様々な要件を持つ子どもや保護者への対応もできるよう、学生の体験・ICT教育・グループワークの機会をとおり学びを深めながら、保育内容「健康」について、「計画の立案、実践、評価、改善」が可能な力を身に付ける。</p>		
授業の到達目標	<p>1、本授業の意義・ねらい・内容の概要把握と養成校在生として自身の健康管理の基礎力を習得する</p> <p>2、現代日本の子どもの健康課題を把握し、子どもの元気を育むための保育者としての役割を認識し実践できる</p> <p>3、子どもの心身の健康が保障されることを第一義に、日常生活をとおして、基本的生活習慣を身に付け、健康で安全な生活を作りだす力を養うための具体的指導法を学び、基本的実践力の習得を目指す。その際、子どもの年齢や個別対応、保護者支援/地域支援への必要性に気づき積極的に知識を吸収し、実践力の習得に努める。</p> <p>4、「3」の保障を目指し、保護者と保育者、地域の小学校や中学校との協働が必要なことに気づき、その視点を述べるができる</p> <p>5、自身の健康課題への省察と、自律した社会人/保育者を目指し、その問題点について改善への具体策を講じようとする</p>		
テキスト	「演習 保育内容 健康」萌文書林 2018 井狩芳子著、「保育内容『健康』」の該当箇所のプリント/課題		
参考書	・文部科学省「幼稚園教育要領」・厚生労働省「保育所保育指針」・内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」・文部科学省「幼児期運動指針」/小学校教育指導要領(保健体育)・その他関連科目の各教科書・発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ		
プリント	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	1、実践記録シート(1枚) 2、第13・14回授業課題(A3各1枚) 3、第4・5・6・7・8・9・10・11回授業課題(8枚 * 予定)		
課題の確認と成績評価方法	<p>1、授業への積極的参加(取り組み姿勢とその理解):30% * 各実技実施日には、「自身の動きやすさと安全を保障」する視点にたち着用する服装と靴を準備する。この視点が未熟な者には指導をおこない、度重なる注意を受けた者は失点を課す。尚、背景に個人的な理由がある者は、事前相談をする。</p> <p>2、各授業時間の実践ワーク:30%</p> <p>3、①実践記録シート:10% ②第13回/第14回課題:各15%</p> <p>* 授業内容に関する質問は、各時間の終了時とオフィスアワーに受け付けます。内容は、質問の内容/学籍番号/氏名/受講曜日時間を記し、提示願います。</p>		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	①オリエンテーション ②保育観(“10の姿”)の確認 ③“あそび”を用いた援助 ④現代日本の保育者の役割についての認識と理解 ④「保育内容『健康』」の振り返り(前期試験の活用)と、視点5項目の再認識 ⑤実践記録シート作成
	授業外指示	<予習>当該科目シラバスの通読 <復習>「保育内容『健康』(前期受講科目)」の概要振り返り…実施済みの「到達度確認(試験)」の確認し、その視点5項目を認識
第2回	テーマ 内容	①「子どもに対する健康保障とあそびの意義」再考 ②「保育者がおこなう、遊びの保障」について(グループワーク)/視聴覚教材視聴予定
	授業外指示	<予習>子どもの遊びの意味と意義を整理して授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第15章を通読。子ども期に必要な不可欠な遊びに関する知識の定着と、その際の保育者の視点を知る <今後の課題>全子ども期に必要なあそび”に係る実践力を習得しようとする
第3回	テーマ 内容	子ども期の全面発達とあそびの効用 ①のあそびの効果検証と、発達に不可欠な遊び要素の認識と共有(グループワーク) ②「①」の視点をふまえ、子どもの年齢相応の遊びとは(グループワーク)
	授業外指示	<予習>教科書第13章-4~6の通読 <復習>年齢にそった子どもの遊び理解の促進。理論的な側面から、年齢相応の多種のあそびについて説明ができる
第4回	テーマ 内容	戸外あそび ①「冒険あそび場とプレーリーダー」の認識と必要性(NPO法人KIDSとの協働事業) ②自身の子ども期のあそび体験振り返り(グループワーク)
	授業外指示	<予習>教科書第5章-5の通読、「冒険遊び場、森の幼稚園」の意味を調べて授業に参加 <復習>自分の住む地域の冒険遊び場を調べ、興味/関心を持つ
第5回	テーマ 内容	体験その1(教室に集合、戸外散歩):戸外あそび体験/保育の視点省察ワーク…①散歩に行く際の準備/手続き ②実地踏査(ICT活用) ③お散歩マップ作成(ICT活用) ④安全管理と安全教育(防災ピクニック体験)
	授業外指示	<事前準備>①散歩が出来る服装や持ち物への留意 ②雨天時対応 <復習>ワーク作成
第6回	テーマ 内容	体験その2(学内⇒冒険遊び場移動):戸外あそび(冒険あそび)体験/保育の視点省察ワーク…①体験に向けての事前準備/手続き ②現場体験(ICT活用) ③体験の記録(ICT活用)
	授業外指示	<事前準備>①戸外あそび可能な服装/靴/持ち物への留意 ②雨天時対応 <復習>ワーク作成
第7回	テーマ 内容	体験その3(体育館アリーナ):身体機能を高め有能感を得るあそび体験/保育の視点省察ワーク…①現場体験(ICT活用) ③体験の記録(ICT活用)
	授業外指示	<事前準備>①実技が出来る服装/靴に留意して出席 <復習>ワーク作成
第8回	テーマ 内容	体験その4(体育館アリーナ):ゲーム性のある遊び体験/保育の視点省察ワーク…多方面の力の獲得を目的とした年長児向けあそびの記録
	授業外指示	<予習>幼児期の終盤期のあそびを知って授業参加 <復習>幼児期に獲得することが望ましい”10の姿”をイメージしながら、遊びにより引き出される多方面の視点に実体験を通して気付く
第9回	テーマ 内容	①4回の体験授業で記録したワークを持ち寄り、グループワーク/プレゼンテーション ②4回の記録のいずれか1種類を選択し、年長児用の部分実習案を作成⇒グループ内プレゼンテーション
	授業外指示	<予習>部分指導案作成にあたり、参考資料になる教科書などを事前に確認し、当日持参する <今後の課題>部分指導案作成にあたり苦労した点を振り返り、改善点に気付こうとする

第10回	テーマ 内容	基本的な生活習慣の獲得/安全管理と安全教育/保護者支援 :①リスクとハザード対応(前期作成のポスターと前期試験の活用/各自検証とグループワークとプレゼンテーション) ②ワーク:ポスター作成
	授業外指示	<予習>前期に習得した“ハザードとリスク”の概念を思い出して授業に臨む <今後の課題>①日常生活に潜むハザードに気付き、その除去とリスク回避力を習得しようとする ②行動に際し、随意効果(+面・一面)を考える
第11回	テーマ 内容	子どものマスメディア利用 ①その功罪を踏まえた国内外のマスメディア対応の現状把握 ②ハザードの視点を踏襲した国策の創造(グループワーク)
	授業外指示	<予習>前期で扱った資料等を再読し、学習後の自身の変化などに気付き授業に臨む <今後の課題>保育者養成校に在籍する学生として、“子どものより良い健康状態を保障する視点にたったマスメディア対応に気付き、実践しようとする
第12回	テーマ 内容	前半: 次回課題説明・・・「日本の季節(二十四節気)や文化(世界を含む)を意識した保育(日々の保育(あそび)/行事/食育)」月別ポスター作成(グループワーク) 後半: 次回提出課題の準備
	授業外指示	<予習>他教科で使用している教科書等を準備して持参 <今後の課題>今回取り上げない健康課題についても、指導ができるよう努める
第13回	テーマ 内容	①次回課題説明:「乳幼児期の子どもの力を伸ばす運動あそび」に係る年間プログラム作成の概要説明 ②今日の提出課題の作成(月別保育ポスター) ③次回提出課題の準備
	授業外指示	<予習>他教科で使用している教科書等を準備して持参 <今後の課題>今回取り上げない健康課題についても、指導ができるよう努める
第14回	テーマ 内容	提出課題の作成(「乳幼児期の子どもの力を伸ばす運動あそび」に係る年間プログラム)
	授業外指示	<予習>あらかじめ、提出課題に取り組み事前準備をしてもよい <復習>今回取り上げない健康課題についても、指導ができるよう努める
第15回	テーマ 内容	①15回授業の振り返り、ワークの確認、各時間の取り組み表の確認 ②小学校との接続に係る事例紹介 ③個別対応を必要とする事例紹介
	授業外指示	<予習>半期間のワーク通読 <復習>①ワーク整理 ②指定ワークの綴じ込み <実習に向けた課題>本授業で取り上げた健康課題について、機会を利用して試してみようとする。自身の身体特徴に気付き体調管理に努める